



ふくおか【Good👍】農業人100

主な農産物／小松菜、水菜、露地ナス

# 島田 文治さん (37歳)

(営農地／京都郡みやこ町)

## 就農当初は、困った菜!いまは小松菜栽培に自信あり

《就農のきっかけ》

### 働き甲斐とゆとりを求めて

島田さんは、北九州市八幡西区出身で電気系の短期大学を卒業したことから、東京の建設会社に勤務していました。会社での仕事は年中忙しく、特に年度末は深夜遅く帰宅し、翌日の早朝には出勤する日が続くなど、とても生きがいを見つげられるような環境ではない条件のもと、毎日が過ぎていきました。

そのような生活も、子供が小学校に入学することをきっかけに「チェンジ」することを決断しました。そこで、福岡県みやこ町(当時勝山町)で新規就農研修制度があることを知り、思い切って応募しました。いままでに縁がなかった「みやこ町」に「ターン」という形で就農することになり、「みやこ町」で人生をかけてみることにしました。

《これまでの過程》

### 2aのハウスでわずか10束の小松菜

みやこ町では、町独自の2年間の新規就農支援制度があり、この制度を活用することができました。この制度では、町内の先輩農家での研修や普及指導センターの職員による座学研修、現地実習で研修を積み重ねました。就農にあたっては、ほ場や居住地をみやこ町役場から紹介してもらい、夢の一国一城の主となることができました。

ただし、就農直後の野菜栽培は散々な状況で、最初につくったトマト100株は生育不良で100個しかとれなかったり、2aのハウスで栽培した小松菜は害虫被害で10束しか出荷できませんでした。(泣)

このような数多くの失敗を重ねた中、普及指導センターから勧められた小松菜、水菜にしぼったことが功を奏し、栽培技術を早期に習得し、農業経営を軌道に乗せることができました。



プロフィール

- 家族構成／母(妻方)、本人、妻、子ども1人
- 前職／会社員(電気工事業) ■営農年数／約6年
- 従業員数／1~2名(パート含む)
- 耕作(経営)面積／ハウス25a、露地野菜90a
- 販路／直売所

《これからの展望》

### 就農希望者の応援団長に。 そして、みやこ町に恩返しを。

現在、妻と義理の母の3人で、25a(10棟)のハウスに小松菜、水菜の軟弱野菜を栽培しています。就農当初からいろいろな失敗を重ねてきた自分を振り返ってみると、栽培技術は3年、5年するうちに身についてきます。栽培技術も大切ですが、それよりもっと大切な事は集落との関わり合いと思っています。これから就農する人には、このことをアドバイスしたいそうです。

主な出荷先は直売所だそうです。直売所で出荷されている品物や消費動向をしっかりと観察することが大切と考えているとのこと。勉強に行く気持ちで直売所に出荷しているそうです。その上で水耕栽培や観光農園、6次産業化にもチャレンジしたいそうです。



### Good👍 成功の ためのポイント

就農後は小さな失敗を恐れず、たくさん失敗を重ねることが技術習得や農業経営を軌道に乗せるポイントです。また、自分のハウスを持つと慣れないハウスの管理で大変とは思いますが、同じ品目を栽培している先輩農家のハウスに勉強に行くことが大切です。

最後に、目標となる先輩農家を見つけ、意見交換を行うとともに自分なりの経営目標を設定することが大切です。